

(様式6)

엑스線装置に関する構造設備概要

1 엑스線装置の制作者名、型式および台数 2 엑스線高電圧発生装置の定格出力

台数	台						
制作者名							
型式							
製造年月日	年	月	日	年	月	日	
装置のタイプ	固定式 (移動不能なもの) 可搬式 (移動可能なもの) ポータブル						
高電圧 発生装置 の 定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間			
	長時間	kv	mA	—			
	短時間	kv	mA	秒			
蓄電式	kv	μ F	—				
主な用途	撮影 ・ 透視 ・ 治療			撮影 ・ 透視 ・ 治療			
設定時の状態	新品 ・ 中古品			新品 ・ 中古品			
設置年月日	年	月	日	年	月	日	

3-1 엑스線装置の放射線障害防止に関する構造設備の概要

ア 엑스線装置の共通事項

照射筒	有 ・ 無	有 ・ 無
絞り	有 ・ 無	有 ・ 無
엑스線管の容器及び 照射筒の漏れ放射線量	ミリグレイ毎時 マイクログレイ毎時	ミリグレイ毎時 マイクログレイ毎時
総ろ過量	mm アルミニウム当量	mm アルミニウム当量

イ 透視用エックス線装置

透視用画像モニター の種類	蛍光板、イメージテンシファイ ア、その他（ ）	蛍光板、イメージテンシファイ ア、その他（ ）
透視時間積算・警告音 発生タイマー	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動 絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
蛍光板有効面積外 照射防止装置	有 ・ 無	有 ・ 無
受像器通過後の 放射線量	マイクログレイ ／毎時	マイクログレイ ／毎時
透視時の最大照射野 通過後の放射線量	マイクログレイ ／毎時	マイクログレイ ／毎時
被照射体周囲の 散乱線防護	有 ・ 無	有 ・ 無

ウ 撮影用エックス線装置

利用線すい可動 絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の直径（口内法撮影用 エックス線装置の場合）	センチメートル	センチメートル
エックス線管焦点及び 被照射体から作業従事者ま での距離（移動型及び携帯型 エックス線装置並びに手術 中使用のエックス線装置）	メートル	メートル

エ 治療用エックス線装置

利用線すい可動 絞り装置	有 ・ 無	有 ・ 無
ろ過版保持装置 (インターロック)	有 ・ 無	有 ・ 無

3-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影回数		回			
1 週間の延べ透視回数		時間			
概要 診療施設の	形態	独立家屋（ 階建て ）、マンション等の 集合家屋（ 階建て 階）、その他（ ）			
	構造	耐火構造（ ）、木造・木造モルタル、 プレハブ、その他（ ）			
の概要 エックス線診療室	形態	エックス線診療専用の室、診療室と兼用の室、 手術室と兼用の室、その他（ ）			
	操作室の 有無	有 ・ 無			
診療室等の遮へい物等の概要	区分	材料	厚さ	放射線防護に関する措置	
	天井				
	床				
	壁を含む 周囲の遮へい物等	東側			
		西側			
		南側			
北側					
出入口の扉					

	診療室の遮へい物の外側における最大放射線量	(ミリシーベルト／1週間 マイクロシーベルト／1時間)
	標識の有無	有 ・ 無
	注意事項の提示	有 ・ 無

3-3 診療施設における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における最大放射線量	ミリシーベルト／3月間
	立入制限装置	遮へい物（材質等： ）による区画、白線による区画、その他（ ）
	標識の有無	有 ・ 無
敷地内の居住区域及び敷地の境界	人が居住する区域における最大放射線量	マイクロシーベルト／3月間
	敷地の境界における最大放射線量	マイクロシーベルト／3月間
その他	診療施設の見取り図	(別添)
	エックス線装置を使用する室の遮へい物等の配置状況	(別添)

3-4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ ）、防護エプロン（ ）、 その他（名称： 、数量： ）
エックス線診療従事者等の放射線測定器の保有状況	フィルムバッジ（ ）、ポケット線量計（ ）、 蛍光ガラス線量計（ ）、ルクセルバッジ（ ）、 その他（名称： 、数量： ）

エックス線診療室等の放射 線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 、数量：)
線量測定方法	実測 ・ 計算
実測測定器名	()
その他措置 (健康診断等)	

4 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏 名	年齢	エックス線診療に関する経歴